



冬の代表選手は 仲が悪い！

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん
協力：ガーデニングショップ金久 カネヒサ
大阪府泉佐野市日根野2545
☎072-467-2413
<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>

年の瀬を彩る代表的な鉢花にポインセチアとシクラメンがあります。この二つの植物が正反対の性質だということをご存じですか？ 同じ所に置くと、どちらかが傷んでしまうので要注意です。

← 様々な色のシクラメンを一緒に植えるとかわいい

○シクラメン

【性質】

地中海沿岸が原産地。冬～春の生育期は、比較的、土が湿っている状態を好む。底面給水（鉢の下に水を入れる）が一般的。いったん土が乾くと水が上がらなくなるので、時々、鉢の上部から土の表面にたっぷり水をやる。

【温度管理】

暖房の利いた室内ではすぐに花が終わってしまうので、なるべく寒い所に。平地では地面に植えるのも可能。ミニシクラメンはガーデンシクラメンの名でも店頭に並ぶ。



- 1 ピンクでまとめた寄せ植え。パンジー、カルーナブルガリウス、ヒトミ草と
- 2 白い花と赤い鉢のコントラストが印象的
- 3 赤、黄、ピンク、まだら模様と、カラフルな葉が美しいポインセチア

【選び方】

葉が多く、触ってみて葉が硬いものが良い。1月に入って元気な鉢を見つけたら、春まで長持ちするお買い得品。

○ポインセチア

【性質】

メキシコ原産の亜熱帯地方の植物。派手に色づく花のような部分は「ほう葉」と呼ばれる花を包む葉。赤道直下で育つため、日が短くなるとう花を咲かせて葉が色づく。案外、乾燥に強く、寒い時期に水をやり過ぎると枯れてしまふ。

【温度管理】

寒さに弱く、強い光を好むので、日当たりが良く、夜でも冷えない所に置く。

【購入時期】

寒波が来ると根が傷むことがあるので、12月上旬のまだ暖かい時期に買う方が安心。

シクラメンは暑がり、ポインセチアは寒がりだとお分かりいただけましたか。性質をよく知って、大事に育ててやれば、どちらも4月ごろまで楽しめます。

